

| (7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載） |
|--|
| 施設内の展示スペースにおいて、常設している設備が老朽化している。また、特別展を開催するにあたって、展示室の使い勝手・臨時収蔵庫に限りがある。 |

| (8)改善実績（過去3年間の実績） |
|---|
| 展示設備の保守点検を継続している。長久手古戦場野外活動施設運営委員会において、今後の施設のありかたなど検討 |

| (9)業務の評価（自己診断） | | |
|----------------|--|-----------------|
| 評価基準 | 評価の視点 | 五段階評価 (5～1点) |
| 目的の達成状況 | 業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。 | 3点 |
| コストパフォーマンス | 成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。 | 3点 |
| 業務方法の最適採用 | 業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。 | 3点 |
| 住民の満足・信頼獲得 | 受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。 | 3点 |
| 総合計画との整合 | 総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。 | 3点 |
| 他都市との比較 | 近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。 | 2点 |
| | | 平均 2.8点 |

| (10)総合評価（課の見解） | |
|--------------------|---|
| 今後の方向 (該当番号に○印) | 1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 ②. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。 |
| 評価理由 | 町内に点在している文化財や「小牧・長久手の戦い」のあった場所として、施設整備・管理、来町者にPRなど必要である。 |

| (11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること） |
|---|
| 町で保有している文化財などの備品を施設で収蔵管理するには、施設の大きさが限界に近づいている。現状調整しながら運営しつつ、施設のあり方について運営委員会で検討していく。 |